

授業科目

スポーツ障害理学療法学

【担当教員名】 亀尾 徹	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

1. 広範におよぶ応用医学であるスポーツ医学の概念を認識し、プロスポーツ選手、一般競技スポーツ選手、スポーツ愛好家に対する理学療法士の役割を認識し、評価、治療、管理、予防などについて理解を深める。
2. 成長期、高齢者、女性など、ある特徴を持った運動グループに対する配慮について学習する。

【<行動目標：S B O>】

1. スポーツ医学の概要を踏まえ、理学療法および理学療法士の存在意義を説明できる。
2. 理学療法における禁忌および注意事項を抽出し、予後を同定し、個人に見合った評価・治療を計画できる。
3. 代表的なスポーツ障害・外傷の病理と臨床パターンについて説明でき、評価・治療を選択できる。
4. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションに特有なトレーニング方法について説明できる。
5. スポーツ障害・外傷のリハビリテーションおよび障害予防に用いる補装具およびテーピングについて説明し、実践できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	スポーツ医学およびスポーツ障害・外傷の理学療法総論について学ぶ	1	講義
2	一般的医学モデルとスポーツ医学モデルの差異と臨床的リズニングについて学ぶ	2	講義
3	スポーツ障害・外傷に対する理学療法に特有なトレーニング方法について学ぶ	4	講義
4	スポーツ障害・外傷に対する理学療法の代表的な治療過程について学ぶ	3	講義
5	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 腰部骨盤帯・股関節 (1)	2-4	講義
6	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 腰部骨盤帯・股関節 (2)	2-4	講義
7	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 膝関節 (1)	2-4	講義
8	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 膝関節 (2)	2-4	講義
9	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 肩複合体 (1)	2-4	講義
10	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 肩複合体 (2)	2-4	講義
11	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 足部	2-4	講義
12	部位別スポーツ障害・外傷と理学療法 肘関節	2-4	講義
13	スポーツ障害・外傷に対して用いる補装具とテーピングの基礎を学ぶ	5	講義
14	テーピングに関する知識・技術を学ぶ	5	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	Clinical sports medicine	Brukner他	McGraw Hill, Australia	2002
その他の資料	資料配付			

【評価方法】 定期試験, その他	【履修上の留意点】
---------------------	-----------